

1 前回議題について

既存路線バス停留所 300m 圏域内にあるチョイソコおかざきの停留所どうしの移動禁止ルールを緩和する検証を事業者等と調整し、以下の期間とした。

会議提出時	会議後調整
令和 5 年 1 月～2 月	令和 5 年 2 月～3 月

2 現状報告（令和 2 年 10 月～令和 4 年 11 月）

六ツ美中部学区での事前予約型乗合タクシー「チョイソコおかざき」の有償実証運行の開始から 2 年 2 か月が経過した。令和 4 年 10 月からは第 4 期運行計画に基づき、検証を行っている。

(1) 利用者数等（運行期間：令和 2 年 10 月 1 日（木）～令和 4 年 11 月 30 日（水） 計 528 日

	実績値	備考
会員登録者数	935 人	令和 4 年 11 月末時点
予約成立件数	3,076 件（118.3 件/月、5.8 件/日）	最大月：8.1 人/日（R4.6）、最小月：4.4 人（R2.12）
延べ利用者数	3,446 人（132.5 人/月、6.5 人/日）	最大月：9.9 人/日（R4.6）、最小月：4.6 人（R3.1）
実利用者数	147 人 うち 3 人（新規利用者） 23 人（継続利用者） 116 人（利用離反者） 5 人（利用復帰者）	令和 4 年 11 月実績 利用離反者：最後の利用以降に 2 か月以上利用がない者
利用頻度	27 人（月 1 回以上利用） 35 人（2 月～半年で 1 回以上利用） 85 人（2 年で数回利用）	令和 4 年 11 月末時点
利用者割合	15.7%	実利用者数（147 人）÷会員登録者数
乗合率	1.28 人/便	最大月：1.47 人/便（R4.6） 最小月：1.04 人/便（R3.2）

※詳細は「資料 2 別冊 チョイソコおかざき現状報告【全体版】」により記載。

(2) 活動状況等

地域主体の交通の実現のため、六ツ美中部学区エリアバス運営協議会が中心となり、実証運行中である「チョイソコおかざき」の運行内容の改善策や、地域に合った運行方法の検討等を進めている。

また、会員条件の変更に伴い、地域主体で学区内外の地区等に周知活動を行っている。

活動実績	検討事項等
R4.10.28 第 22 回協議会	次期運行計画、利用促進策について協議
R4.12.23 第 23 回協議会	次期運行計画、利用促進策について協議

(3) 実施イベント（株アイシン主催）

開催日	イベント名	参加者	共同事業者
R4.12.26	足把持力測定会×ランチ		善雅

3 回数券の導入について

(1) 概要

200 円券 12 枚綴りで 2,000 円の回数券を販売する。

<目的>

回数券の販売により利用促進を図る。

◎確認項目について

確認項目：回数券による利用者の増が図られるか確認する。

確認方法：チョイソコの実績を確認

(2) 結果報告

a) 回数券の利用実績

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
利用者数（人）	125	137	207	155	113	120
実利用者数（人）	40	41	54	35	33	28
延べ実利用者数（R2.10～）（人）	119	126	135	138	139	141
12 枚綴回数券購入数（枚）	20	13	19	11	9	7
回数券利用数（枚）	92	106	159	186	113	132
回数券利用割合（%）	59.9	61.1	67.4	87.3	72.9	79.0

b) 期別の比較

	平均運賃収入	利用者数	エリア別移動者数	回数券利用割合
R2.10～R3.3	33,133 円/月	6.0 人/日	生活 : 62.9% お出かけ : 37.1%	-
R3.4～R3.9	38,933 円/月	6.9 人/日	生活 : 61.1% お出かけ : 38.9%	-
R3.10～R4.3	35,267 円/月	6.4 人/日	生活 : 62.2% お出かけ : 37.8%	-
R4.4～R4.9	31,999 円/月 (※) 36,633 円/月	6.9 人/日	生活 : 71.8% お出かけ : 28.2%	71.7%

(※) 回数券が通常運賃だった場合

(3) 考察

- ・回数券の利用者は徐々に増加傾向にあり、支払いの約 7 割で利用されている。
- ・R4.4～6ではチョイソコイベントの開催等もあり、生活エリア内の利用が多くなっている。
- ・R4.4～9の期間では、利用者数と回数券利用数の増減への影響については、継続して確認をする必要がある。
- ・回数券の割引額ほどには利用者は伸びてはならず、利用の多い方が安く乗車できるようなルールになっていると推測される。
- ・お出かけエリアへの往復で 100 円玉×8 枚の用意が必要なくなるなど、利便性の向上が図られている。

(4) 今後の方針

回数券利用による利用者への影響が R4.4～9では判定できなかったため、引き続き実績を確認するとともに、より利用のインセンティブとなり得る定期券等をはじめとした運賃ルールについて検討を進める。

